

新しいアジサイの栽培方法

鎌倉アジサイ同好会 前川英吉

その-2 5号のビニールポットを使った管理について

先日はアジサイ栽培に使う新しい鉢について書いてみましたが、さらに鉢についてもう少し検討しました。アジサイの栽培鉢に求められる機能としていろいろありますが、その中に鉢の重さがあります。スリット型プラ鉢は軽いのですが、さらに軽いものとしてビニールポットがあります。軽さだけでなく、価格も園芸店、ホームセンターで5号鉢20ポット入り250円程度ですから格段に駄温鉢に比べて低価格です。ただし、問題もありますから比較してみました。

＜5号鉢で比較＞

	駄温鉢	スリット型プラ鉢	ビニールポット
重さ	重い	軽い	さらに軽い
通気性	良い	非常に良い	悪い
強度	硬いが壊れる	硬く、落としてもOK	柔軟、落としてもOK
鉢の持ち運び	両手で2個	両手で4個	両手で1個
耐久性	永久に使用可能	4~5年でもろくなる	2年程度で硬くなる
鉢底網	必要	不必要	必要
鉢底石	必要	不必要	必要
価格	約120円	約120円	約12円

アジサイ栽培でどの鉢を使うかは一長一短があり、迷うところですが私はいつも「楽して育てる」を第一に考えているので重たい鉢は先ずダメです。かといって黒のビニールポットでは通気性は良くないし、株が成長して根が張ってくれば水が溜り易く根腐れの心配があります。ビニールポットは持ち手もないで「ふにゃふにゃ」して5号鉢サイズともなれば両手で一ポットがやっとです。

しかし、何といってもビニールポットの軽さには魅力があります。栽培鉢数が増えれば増えるほど鉢の移動時の腰への負担は歳と共に厳しいのです。そんなわけで、ビニールポットの欠点を補うべく通気性の良い型を考えてみました。簡単です。ハサミで穴を開けるだけです。私はポットの底に4ヶ所横腹に3ヶ所開けて合計底穴をも含めて8ヶ所にしました。(下の写真参照)



ポットを加工することで軽くて、通気性の良さそうな、安価な鉢が出来ましたが私はこれを試すには底網はこれまで通り必要ですし、さらに鉢底石も駄温鉢よりも多めに入れて通気性には気を付けて植え替えてみました。

3年苗を何トレイか植え替えて1ヶ月後の状態は下の写真の通りで良好で剪定後の新芽は良く育って来年度の花芽を付けると思われる芽がみえます。



通気性を良くしたポット



スリット型プラ鉢



通気性改善ポットの剪定後の状態



左の写真はこの穴を開けた5号ビニールポットをトレイに入れた状態を横から見たもの。鉢の株周りの「ひこばえ」や不要な枝は取り除き、出来るだけ株の下部分はスカスカ状態にしています。こうすることで、株本の風通しは良くなり、葉数が少なくなる分だけ水分の蒸散が抑えられるために毎日の水やりがグッと楽になります。

この時期、トレイを横から眺めてヤマアジサイの品種札が読める程度が望ましいですよ。

ビニールポットは型が安定しにくいために、右の写真のような5号鉢専用のトレイを利用するのも良い方法です。写真は5号縦型スリット型プラ鉢を専用トレイに入れた状態です。ビニールポット型もこのトレイで日頃から入れることで軽くて、鉢の中も動かさずに管理できると思います。

